羽生市

ぎかいだより

No.256
発行日／2026年(令和8年)11月13日
編集／議会広報委員会
発行／羽生市議会



「藍染(あいぞめ)議会」を開催(令和８年９月定例会)

令和８年９月定例会

■令和７年度決算を認定
■一般質問に 12 人が登壇

18 年目を迎えた「藍染議会」では、出席する議員と職員が「藍染シャツ」等を着用し、審議を行いました。

羽生市議会のホームページを開設しています。 羽生市議会 検索 こちらの二次元コードからでも▶

市政に対する一般質問 そこが…聞きたい



※一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。
掲載されている二次元コードから、当該議員の動画をご覧いただけます。

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。
今期定例会では、9月16日から18日の3日間にわたり12人の議員によって行われました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



野中（のなか）一城（かずしろ）議員

水害対策と生活再建は

●質問　次の点について伺う。
①洪水対策の現状と課題、今後の取り組み
②内水害対策の現状と課題、今後の取り組み
③災害ごみの処理

●答弁（①②まちづくり部長・③経済環境部長）
①利根川を管理する国では、堤防の安全性を確保するため、右岸側の首都圏氾濫区域堤防強化対策事業を進めている。課題は、当該事業の未整備区間における事業推進が挙げられる。今後の取り組みとして、国では、気候変動に負けない利根川の早期実現を目指すため、河川整備計画を変更し、上流部の洪水対策を推進している。市では、洪水対策の推進に関する要望活動のほか、住民への周知・啓発などに努めていきたい。
②市ではこれまでに雨水幹線の整備、貯留施設の整備、排水ポンプの整備などに取り組んできた。また、県が事業主体となり、本市の主な雨水の排水先である中川の整備を進めている。課題として、近年の気候変動による短時間集中豪雨は、河川や排水路の流下能力を上回り、排水施設整備のみでは限界があるため、対策の強化が必要であるととらえている。今後の取り組みとしては、中川の下流工区の整備促進について、県に対し、事業の整備促進の要望活動を実施するとともに、弁天橋架替工事について、県と連携し推進していきたい。
③災害発生後、まず、被災状況を把握し、災害廃棄物の発生量などを推計し処理全体の見通しを立てたうえで、仮置場を開設し、災害廃棄物の受け入れ、分別、保管を行うこととしている。また、収集・運搬は、必要に応じて廃棄物処理業者等に協力を要請し、さらに、処理が困難な場合は、他自治体等に支援を要請し、広域的な処理体制を構築していく。
　災害廃棄物を迅速かつ適正に処理するには、市民の協力が極めて重要であるため、防災行政無線、市ホームページなど、複数の手段を活用して情報発信に努めていく。



その他の質問
・小中学校に冷水機の導入を

議会の詳細は市議会ホームページをどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。
　羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。
　また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

羽生市議会のライブ中継と録画配信をしています。

羽生市議会　検索

こちらの二次元コードからもアクセスできます。



小野田和男（おのだかずお）議員

羽生市斎場について

・質問　次の点について伺う。
①斎場の現状
②火葬料金の改定
③施設整備

・答弁（総務部長）
①火葬件数は、令和5年度が752件、令和6年度が804件、令和7年度が688件である。

収支状況は、令和5年度が2，465万5，000円の赤字、令和6年度が2，047万4，000円の赤字、令和7年度が2，911万7，000円の赤字である。

施設修繕等の費用は、令和5年度が707万1，000円、令和6年度が339万8，000円、令和7年度が1，029万6，000円である。

②本市の火葬料金は、近隣自治体等と比べて安いが、建物は築49年経過し老朽化しているため、火葬料金引き上げには、施設環境などのサービス向上が前提であるととらえている。したがって、現段階で直ちに料金改定を行うことは考えていない。

③羽生市公共施設個別施設計画では、「令和12年度までは、施設の適切な維持管理のための修繕や改修に努め、延命化を図る」としている。そのため、火葬炉の改修や修繕に注力しており、大きな支障は無く運営できている。一方、現在の主な懸案箇所は、トイレを含む給排水設備の改善や、全館空調および個別空調の改修、待合室の床改修、外壁の塗装塗布などが挙げられる。今後は関係課と連携し、改修計画の策定に向け取り組んでいきたい。


老朽化した羽生市斎場

ペット火葬施設については、要望はあるものの、施設設置場所の確保、財政負担、公平性の観点など解決しなければならない様々な課題があることから、施設建設は困難であると考えている。

その他の質問
・妊娠・出産時の支援を



小川明彦（おがわあきひこ）議員

商工業の振興を

・質問　次の点について伺う。
①市内商工業の現状
②創業を後押しする取り組み

・答弁（経済環境部長）
①商工業者は、物価高騰、人手不足、後継者不足など、多くの課題を抱えているものと認識している。物価高騰や人手不足への支援としては、燃料価格の高騰により増加する光熱費の負担を軽減するため、節電設備導入支援補助金制度を実施し、節電効果の高い設備へ更新する事業者に対し、補助対象経費の2分の1、上限50万円を補助している。また、経営基盤の確立に向けた新たな取り組みやDX化、販路開拓などに挑戦する市内の中小事業者や個人事業主などを対象に、新規事業チャレンジ補助金制度を実施し、補助対象経費の3分の2、上限10万円を補助している。さらに、後継者不足への支援としては、商工会への事業補助を活用し、後継者不足に伴う事業承継に関するセミナーや個別相談の実施を予定している。


創業支援セミナーの様子

②創業支援事業では、市と商工会が連携しセミナー等を実施している。また、専門的指導の面では県の関連機関と、融資の面では日本政策金融公庫や市内金融機関と連携を図っている。補助制度では、創業経費を対象に、女性および移住者は3分の2、その他の方は2分の1の補助率で上限100万円の補助を行なっている。加えて、空き店舗の活用支援では、商店街の空き店舗へ出店した場合の改装費や店舗賃借料を補助する、商店街空き店舗対策モデル事業補助金制度も実施している。今後も、時代の変化や事業者の成長段階に迅速に対応できるよう、既存の枠組みにとらわれず、制度のさらなる磨き上げに努めていきたい。

その他の質問
・市のキャラクター等地域資源を活用したさらなる振興を



駒宮（こまみや） 圭吾（けいご） 議員

市内太陽光パネルの設置と規制は

・質問　電力固定価格買取制度の開始以来、全国的に様々な問題が表面化している。そこで、次の点を伺う。

①安定性とバックアップ電源の必要性

②再エネ賦課金の負担増と使途の不明瞭さ

③中国製パネルの中国共産党によるウイグル人権侵害や強制労働

④悪質事業者撤退後の放置リスク

⑤森林伐採などによる火災リスクや農地保全

⑥金属類窃盗増加と治安悪化

⑦羽生市独自の規制の必要性

・答弁（経済環境部長）

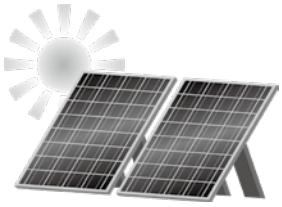
①国のエネルギー政策や電力制度の中で、総合的に勘案しながら検討されるべきと考えている。

②再エネ賦課金の単価等は国が定めており、再生可能エネルギーの導入拡大と国民負担の抑制との両立を図りつつ運用されていると認識している。

③外国政府の政策や他国の国内事情に関する評価は、外交を担う国において判断されるべきものと考えている。

④市のガイドラインに基づき、施設の管理や撤去については、責任を有する者に対し、適正な対応を求めることとなる。

⑤市のガイドラインに基づき、事業者に災害防止対策および雨水流出抑制対策を講じるよう求めている。また、農地法の規制により、優良農地は保全できるものと判断している。



⑥金属類窃盗の発生で、直ちに治安悪化に結び付けるものではないが、地域全体が治安悪化に陥らないよう警察署や関係団体と連携を図っていく。

⑦現行のガイドラインと関係法令等を適切に運用しているため、市独自の条例による新たな規制を設ける必要性は高くないものと考えている。

その他の質問

・斎藤市長の言う「差別と分断」と外国人人口ビジョンは



昆（こん） 佳子（けいこ） 議員

読書バリアフリーの推進を

・質問　「りんごの棚」は、特別な配慮を必要とする子どもたちが安心して読書を楽しめるように設けられたもので、本を読むことが難しい子どもたちにとって、読書の世界を広げる大切な窓口である。本市でも、読書バリアフリーの推進に向けた環境づくりを進めているが、さらなる充実のため、次の点を伺う。

①本市図書館に設置している「りんごの棚」の現状

②「りんごの棚」の周知

③学校図書館におけるバリアフリー図書の現状

④「読書バリアフリー推進計画」の策定

・答弁（生涯学習部長）

①市図書館では、令和7年10月から児童開架室の入口付近に「りんごの棚」を設置しており、点字資料やLLブックなど合計185冊ある。



羽生市立図書館のりんごの棚

②チラシや市図書館のインスタグラムなどで周知している。今後は、広報はにゅうやホームページ、LINE、子育てアプリ、乳幼児健康診査等でも周知していきたい。

③学校図書館でバリアフリー図書の配置は進んでいない。市教育委員会では、読み書きに特別な支援を必要とする子どもたちの特性を考慮した支援に努めていくとともに、多様性を認められる学校図書館の環境づくりを支援していきたい。また、令和9年2月から稼働する電子図書館機能を活用できるよう、学校と市図書館との連携について検討していきたい。

④「羽生市読書バリアフリー推進計画」を策定する予定はないが、「羽生市立図書館運営基本計画」を更新する際には、読書バリアフリーの推進に関する内容を充実させることにより、誰もが読書に親しめる環境を整えていきたい。

その他の質問

・高齢者世帯におけるペット問題は



小林誠弥（こばやしたかや）議員

外国人との共生は

・質問　ごみの出し方や自転車の交通ルールについて、外国人にしっかり啓発することが重要と考える。そこで、次の点を伺う。
①市への苦情や相談
②啓発方法の現状と今後

・答弁（経済環境部長・総務部長）
①ごみ出しについては、ごみの分別ができていないことや収集曜日でない日にごみが出されていることなどについての相談がある。市では、職員が現地の状況を確認したうえで、必要に応じて外国語表記の看板設置やチラシを活用し、ごみの分別方法や出し方について説明している。
　自転車利用については、市への苦情や相談はないが、一列での走行や、交差点での一時停止などの交通ルールが浸透していないケースがあることは把握している。
②ごみの出し方の啓発については、本市へ転入の際、外国人の方には12か国語に対応したチラシを活用し説明している。また、ごみ分別ガイドブックも翻訳アプリを活用し、多言語で閲覧することができる環境を整えている。今後は自治会等と連携し、地域の生活ルールを知る機会の充実を図り、外国人と地域住民とが互いに安心して生活できる環境づくりに努め、多文化共生のまちづくりを進めていきたい。
　自転車交通ルールの啓発については、市では外国人向けに特化した啓発は行なっていないが、羽生警察署が外国人を雇用する市内企業へ出向き、12か国語に対応したテキストで交通安全教育を実施している。今後は、埼玉県警察が作成した多言語による交通安全テキストを活用し、市ホームページなどで情報発信を強化していきたい。



その他の質問
・農地の対応について



川田真也（かわたしんや）議員

「世界キャラクターさみっとin羽生」収支決算は

・質問　次の点について伺う。
①収支決算書を2種類に分けている理由とその認識
②収支決算の確認の体制と内容
③羽生市交付金の妥当性
④収支決算の透明性を確保するための方策

・答弁（経済環境部長）
①令和2年度の財政援助団体等監査において、「市からの交付金の支出先を明確化されることを望む」との意見が示されたため、令和3年度から財政援助による会計と財政援助以外の財源による会計の2種類に区分し整理してきた。市民や議会に説明するうえでは、イベント全体として一体的に把握できることも重要であると認識している。
②決算は、実行委員会で収支を取りまとめ、監事による監査を行なっている。具体的には、正・副実行委員長同席のもと、金融機関口座の入出金状況と収支内容との照合、領収書等の証拠書類の確認、購入物品や成果品の確認などについて監査している。
③交付金は、ふるさと応援寄附金の「キャラクター活動による地域交流及び観光の発展に関する事業」に対する寄附を活用するほか、協賛企業の協賛金や参加団体の負担金などを活用しており、事業の公益性、開催の必要性、事業規模、必要経費などを総合的に勘案し、適切な予算額を計上しているものと認識している。
④決算は、議会に対して財政援助に係る決算内容を説明するとともに、市の監査委員による財政援助団体等監査を受けるなど、財政援助の適正な執行という観点から必要な確認を行なっている。今後は、現在の財源別の決算管理を適切に行いながら、イベント全体の収支状況を把握できる総括的な決算資料を作成し、収支の適正な管理と決算内容の透明性の確保を図り、市民や議会に対する説明責任を果たせるよう努めていきたい。



世界キャラクターさみっとin羽生



田口（たぐち） さとる 議員

自治会集会所の支援は

・質問　次の点について伺う。
①現状の把握
②自治会からの相談等
③補助金や助成金の周知方法
④今後の支援のあり方

・答弁（総務部長）
①市では「集会所修繕等計画調査」などを通じて把握に努めているが、築年数や建物の状態などを十分に把握できていない集会所も存在する。
②相談等の窓口である地域振興課には、主に施設の老朽化に関する相談が多い。また、近年は防犯対策に関する相談等も増加傾向にある。
③集会所を維持管理する自治会を支援するため「羽生市自治会集会所整備事業費補助金」および「羽生市コミュニティ助成事業補助金」を設けている。周知方法は、毎年４月の自治会連合会理事会や６月の新任自治会長研修会において、各種補助制度について説明し周知を図っている。
④地域コミュニティの拠点である集会所の存続は、地域活力の維持や防災機能の観点からも極めて重要であるととらえている。空き家等の活用については、空き家の所有者と集会所として利用を希望する自治会とを結びつけるような情報提供や、空き家バンク等の既存制度との連携など、地域の実情に応じた活用方策の可能性について研究していきたい。また、建て替えや改修を行なった後の維持管理に対する補助制度については、市の財政状況や他の地域活動への支援とのバランスなど、多角的な検証が必要である。このため、新たな支援のあり方については、市内の自治会における実際の負担状況やニーズの把握に努めながら、今後の検討課題ととらえ、慎重に研究していきたい。


自治会集会所整備事業費補助金を使って改修する新郷九区自治会集会所

その他の質問
・道路の汚損・破損は
・軽自動車等ナンバープレートの交付手続きは



西山（にしやま） 丈由（たけよし） 議員

福祉施策の充実を

・質問　次の点について伺う。
①福祉施策の基本的な考え方
②必要な人に必要な福祉施策を届けるための取り組み
③市民目線の相談体制
④地域福祉を支える人材育成

・答弁（健康福祉部長）
①本市では、「第３期羽生市地域福祉計画及び羽生市地域福祉活動計画」の基本理念のもと、４つの基本目標を掲げ事業を推進している。取組事業の評価では、多くの事業が順調または概ね順調と評価されている。一方、次期地域福祉計画策定に係る市民アンケートから見えた課題としては、地域福祉を支える人材不足、分野横断的な連携強化、福祉サービス情報の格差是正などが挙げられている。
②今後の取り組みとして、地域見守りネットワークなど、行政だけでなく、民間の力も借りながら、支援を必要とする方の早期発見につながる様々なチャンネルを用意し、アプローチできる体制を構築、拡大していくことが重要であると考えている。
③市では、窓口を一本化するのではなく、現在の横断的な相談体制をさらに充実させることが重要であると考えている。今後も、庁内の関係各課を集めた定期的な研修を通じて、相談対応力の向上と連携の強化に努めていきたい。
④担い手の育成については、誰もがお互いに支え、支えられる地域の一員であるという当事者意識を持てるよう、現在実施している様々な講座や講演会などの啓発活動をさらに充実させたいと考えている。地域福祉は行政だけでなく、地域の様々な団体や人が支え合い、地域共生社会の実現を目指すことが重要とされている。次期地域福祉計画策定にあたっても、現在の課題を踏まえ、地域福祉の充実に向けて、施策の向上に努めていきたい。





柳沢　暁（やなぎさわ　あきら）議員

市長公約の実施を

・質問　住民から、市長公約の実施に期待する声がある。そこで、次の点を伺う。

①中学校給食費の無償化

②水道基本料金の無償化

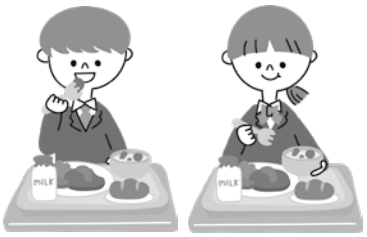
③事業実施に向けた財源の確保

・答弁（企画財務部長）

①中学校給食費を恒久的に無償化するには、毎年度、安定した財源を確保する必要がある。国も中学校給食費の負担軽減を進める方向で検討しているが、現時点で明確な制度や財政措置などの方針は示されていない。このため、国の動向を注視するとともに、国の制度や交付金などを活用できる場合には積極的に活用しながら、恒久的な無償化の実現に向けて検討を進めていきたい。

②水道基本料金を無償化するには、水道料金の減収補てんや必要な事務経費などを含め、年間約4億2，000万円の財源が必要となることから、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金など、国の財政支援を活用することが重要であると考えている。今後、国の経済対策や交付金などにより必要な財源を確保できる場合には、実施に向けて積極的に検討していきたい。

③今後の地方財政については、社会保障関係経費や人件費、物価高騰などによる歳出の増加が見込まれるため、国の地方財政対策や地方交付税など、国の制度や財政措置の動向を見極めていく必要がある。今後、消費税の減税など国における税制改正が行われる場合には、地方消費税交付金をはじめ、本市の歳入にも影響が生じる可能性がある。こうした国の税制改正や地方財政対策の動向を十分に注視し、本市の財政への影響を見極めながら、施策の優先順位や実施時期を判断していきたいと考えている。



その他の質問

・南羽生駅東口の新設を



中島　直樹（なかじま　なおき）議員

選挙結果を公共施設等に掲示すべき

・質問　次の点について伺う。

①インターネット非利用者、新聞未購読者への情報提供の充実について、選挙管理委員会としてどのように認識しているか

②選挙結果を公民館や公共施設等の掲示板に掲示するなど、改善を図る方針はあるか

・答弁（選挙管理委員会書記長）

①インターネットを利用せず、新聞も購読していない方は、選挙結果を知る手段が実質的に広報紙のみに限られている。この状況を踏まえ、選挙管理委員会としては、現在の周知方法に、「速報性」、「場所」、「方法」の3つの課題があると認識している。

　情報提供のあり方については、選挙結果に限らず、市が抱える共通の課題であると認識している。選挙管理委員会としては、自らの所管において改善できることを速やかに実行すること、そして、これらの課題を市全体の課題として提起し、関係部局と検討する場を設けるよう働きかけていきたいと考えている。



選挙結果を告示している市の掲示板

②3つの課題について、改善を図っていきたい。「速報性」については、紙による掲示を速やかに行うことで、広報紙発行までの空白を埋めていきたいと考えている。「情報に触れる「場所」については、市民が利用する公共施設などへと広げていき、地域の身近な施設で結果を見てもらうことが改善の要であると考えている。「方法」については、掲示という形へと改めていきたい。施設の掲示板の前を通れば、そこに結果があることで市民と選挙結果との接点を広げていきたいと考えている。

　なお、来年4月に予定されている統一地方選挙の執行に間に合うよう、協議を進めていきたいと考えている。

その他の質問

・児童下校時の防災行政無線の音声を改善すべき



島村（しまむら）　勉（つとむ）　議員

新たな財源を生み出す取り組みは

・質問　新たな財源を生み出す取り組みについて、どのような見通しを持っているのか伺う。

・答弁（市長）

　重点政策を着実に実現しながら、将来にわたって持続可能な市政運営を行なっていくためには、単に既存事業を削減するだけでなく、事業の必要性や効果、市が実施する必要性などを検証し、事業の見直しなどにより財源を生み出すことや、企業誘致などにより新たな財源を生み出していくことが重要であると考えている。

　歳入の確保において、企業誘致は重要な取り組みであり、固定資産税や法人市民税などの税収確保につなげていくとともに、ふるさと応援寄附についても、寄附額の増加を図っていく。歳出については、限られた財源を有効に活用するという観点から、さらなる見直しが必要である。使用料や手数料は、受益と負担の公平性やサービスの提供に要するコストなどを踏まえ、適正な水準となっているかを検証し、必要な見直しを進めていく。公共施設や社会基盤については、将来的な維持・更新に係る負担を見据えながら、必要性や効果を踏まえ、効率的・効果的な整備やそのあり方について検討していく。あわせて、現在実施している事務事業も、これまでの経緯や前例にとらわれることなく、事業の必要性や効果、より効率的な実施方法などを検証し、さらなる見直しを進めていく。

　地域の価値を高めて歳入を増やすこと、必要な支出を見極めて歳出を抑えること、そして、限られた財源を本当に必要な施策へ重点的に配分すること、これらすべてが財源確保につながるものと考えている。



その他の質問

・タウンミーティングは

義援金を被災地へ

　羽生市議会では、令和8年7月28日に発生した熊本地震により被災された方の支援のため、九州市議会議長会へ災害義援金14万円を送金しました。

防災訓練を実施

　羽生市議会では、令和8年9月7日の本会議終了後、防災訓練を実施しました。今回の訓練は、議場でのシェイクアウト訓練、議事の進行確認、消防設備の操作方法の確認を行いました。

○議案第41号～第47号　令和7年度　各会計決算

　令和７年度一般会計決算は、歳入が251億3,402万円、歳出が228億2,233万円となり、歳入歳出差引額は23億1,169万円となりました。ここから、翌年度へ繰り越すべき財源３億7,923万円を差し引いた実質収支は19億3,246万円の黒字となりました。

▼一般会計・特別会計

会計名称		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		251億3,402万円	228億2,233万円	23億1,169万円
特別会計	国民健康保険	58億8,492万円	54億5,090万円	4億3,402万円
	中小企業従業員退職金等共済事業	5,468万円	5,192万円	276万円
	介護保険	58億4,866万円	55億5,564万円	2億9,302万円
	後期高齢者医療	15億5,868万円	15億3,397万円	2,471万円

（１万円未満四捨五入）

▼企業会計

会計名称			収入決算額	支出決算額
企業会計	水道事業	収益的収支	15億2,789万円	12億6,347万円
		資本的収支	4億2,943万円	9億5,810万円
	下水道事業	収益的収支	12億1,686万円	10億8,575万円
		資本的収支	7,378万円	4億6,376万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金などで補てん。　（１万円未満四捨五入）

決算の概要はこちら↓

令和７年度 各会計決算・羽生市こども未来基金条例など議案18件を審議

主な議案の提案内容は次のとおりです。
※審議結果は11ページをご覧ください。

市長提出議案

○議案第48号　令和8年度羽生市一般会計補正予算（第5号）

○議案第57号　財産の処分について

議案第48号および第57号は、旧村君小学校跡地の土地建物を、市内に工場のあるアミュード株式会社に、６，３５９万８，０００円で売却するものです。また、売却に際し市が樹木の伐採と備品整理を行うため、１，５００万円の増額補正をするものです。


旧村君小学校跡地

○議案第49号　令和8年度羽生市一般会計補正予算（第6号）

財政調整基金等の基金積立や道路新設改良事業等により、10億６４０万円の増額補正をするものです。また、須影小学校校舎大規模改造工事等を実施するため継続費の設定や学校給食センター調理等委託業務などの契約手続きを実施するため債務負担行為を設定するものです。

・財政調整基金積立
（７億５，０００万円）

・道路新設改良事業
（１億２５０万円）

・学校給食センター調理等委託業務
（限度額　４億１，５２１万円）

○議案第51号　羽生市税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、個人住民税のセルフメディケーション税制の特例期限の撤廃と住宅ローン控除の適用期限を延長するため、規定を改めるものです。また、固定資産税の課税標準額（免税点）について、家屋は20万円から30万円に、償却資産は１５０万円から１８０万円に引上げるものです。

○議案第52号　羽生市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○議案第53号　羽生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○議案第54号　羽生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案第52号、同第53号および同第54号は、児童福祉法等関係法令の改正に伴い、「児童対象性暴力等の防止」および「適切な保護のための児童等対象業務従事者の犯罪事実認定等の実施」を義務付ける規定等を追加するものです。

○議案第55号　羽生市民農園条例の一部を改正する条例

羽生市民農園の維持管理に係る経費が増加傾向にあることから、利用者に対し適正な受益者負担を求めるため、利用条件および使用料金等を改正するものです。

○議案第56号　財産の取得について

ＧＩＧＡスクールタブレット端末（３，８７０台）を、埼玉県公立学校学習者用端末共同調達一般競争入札の落札業者であるリコージャパン株式会社から、２億４３２万２，２５０円で購入するものです。


購入予定のタブレット

人事案件

○議案第58号　羽生市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員である駒澤（こまざわ）幸浩（ゆきひろ）氏の任期が９月30日をもって満了したため、島田（しまだ）和幸（かずゆき）氏を新たに任命するものです。

●教育委員会委員の任命に同意

市議会では、採決の結果、賛成多数で同氏を適任と認め同意しました。

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について質疑を行い、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。
今期定例会の主な議案質疑は次のとおりです。

○議案第41号　令和7年度羽生市一般会計歳入歳出決算

質疑（中島直樹 議員）
経常収支比率が前年度92・4％から95・7％に上昇した理由は。

答弁（企画財務部長）
主な要因は、自立支援給付費の支給額の増や業務用パソコン・サーバ機器等の賃貸借料の増などにより、扶助費、物件費および人件費などの経常経費が増加したことによるものである。経常経費に充当された一般財源の総額は、前年度より5億3，345万2，000円の増額となり、経常収支比率が3・3ポイント上昇したものである。

※**経常収支比率**は市の財政構造の弾力性を判断する指標で、100％に近いほど財政の硬直化を示す。

水泳学習委託料（996万7，485円）

質疑（昆　佳子 議員）
プールの老朽化に伴い、羽生北小学校、羽生南小学校、岩瀬小学校の水泳学習を、民間委託により実施しました。授業時間や水泳学習の内容などは確保できたのか。

答弁（学校教育部長）
自校での水泳学習は、年間8時間程度を実施している。一方、民間委託では1回で2時間分の学習を4回程度で実施しており、自校の水泳学習と同じ授業時間を確保できている。また、学習内容も自校の水泳学習と同様に、個人の技能レベルに合わせてグループ分けを行い、学習指導要領に則り実施することができた。児童の感想も「楽しい」などが多く、学習内容についても確保できたと認識している。

がん検診委託料（3，356万499円）

疾病の早期発見および早期治療を図り、市民の健康の保持増進を図りました。

質疑（野中一城 議員）
不用額が発生した理由は。

答弁（健康福祉部長）
がん検診の受診者数の減少によるものである。新型コロナウイルスの影響で受診者数が減少していたが、令和4年度以降は増加傾向にあった。しかし、令和7年度は前年度と比較して、胃がん検診で18名、大腸がん検診で135名減少した。

のりあいタクシー運行補助事業（6，549万3，194円）

のりあいタクシー運行のため、運行事業者に補助金を交付しました。

質疑（柳沢　暁 議員）
事業効果はあったのか。

答弁（総務部長）
利用対象者を全市民としたことで、市民の移動手段の選択肢を広げる効果があったものと認識している。また、車両を3台から5台へと増車したことにより、利便性が向上した。さらに、利用者全体の増加に伴い、乗合率も向上しており、限られた資源の中で効率的な運行体制が確保できていると認識している。

○議案第49号　令和8年度羽生市一般会計補正予算（第6号）

地域子育て支援拠点管理運営委託業務（限度額　3，940万円）

令和9年度から「こどもひろば」を民間委託するにあたり、令和8年度から4年間の債務負担行為を設定するものです。

質疑（小川明彦 議員）
委託することのメリットはどのようなものがあるのか。

答弁（健康福祉部長）
サービス面では、事業者による子育て講座の開催や企業研修を通しての職員の接遇や相談対応力の向上による保育サービスの充実、金額面では、週30時間以上勤務する常勤職員を配置することで、国から現状よりも3年間で650万円程度多く交付金が得られる見込みであり、市の支出の削減につながることが挙げられる。

市体育館床改修工事（限度額　2億1，700万円）

市体育館メインアリーナとサブアリーナの床改修工事を行うため、令和8年度から2年間の債務負担行為を設定するものです。

質疑（川田真也 議員）
工事期間中の代替施設は確保しているのか。

答弁（生涯学習部長）
市体育館利用者の全てに代替施設を確保することは、困難な状況である。対応策として、①体育室があるワークヒルズ羽生への協力依頼、②小中学校体育施設の活用、③加須市・行田市・羽生市の3市で締結している相互利用協定による市外施設の使用を考えている。

須影小学校校舎大規模改造工事等（6億9，504万円）

建築後41年が経過している須影小学校校舎の大規模改造工事等を行うため、令和8年度から3年間の継続費を設定するものです。

質疑（西山丈由 議員）
工事等の概要は。

答弁（学校教育部長）
校舎の外壁や屋上防水の改

修、校舎内の床・壁・天井の塗り替え、給排水設備の配管等の改修、照明器具をＬＥＤ照明に交換する等の工事を行う。また、トイレは全て洋式便器にするなどの全面改修を行い、１階に、独立した車いす対応の多機能トイレを新たに１か所設置する。工事時期は、令和９年度と令和10年度の２か年で計画している。

羽生市こども未来基金元金積立金（１億円）

新設する羽生市こども未来基金に１億円を積み立てるものです。

質疑（小野田和男 議員）

具体的な事業内容は。

答弁（健康福祉部長）

来年度から実施予定の０歳児から２歳児の保育料無償化に要する経費の一部に充てることを考えている。その他については、毎年度の予算編成の中で検討していきたい。

質疑（田口さとる 議員）

財源の捻出方法は。

答弁（健康福祉部長）

来年度以降の予算編成において、事業の優先順位を明確にしたうえで、限られた財源を活用していきたい。また、ふるさと納税などの自主財源の確保にも積極的に取り組み、必要な事業に充てる財源を確保していきたい。

○議案第50号　羽生市こども未来基金条例

未来を担うこどもたちの健やかな成長と、子育て世帯に対する支援を実施するための事業に関する財源を安定的に確保するため、必要な事項を定めるものです。

質疑（駒宮圭吾 議員）

条文に「日本国籍のこどもに限る」旨のただし書きが必要ではないのか。

答弁（健康福祉部長）

地方自治法第10条第１項において「市町村の区域内に住所を有する者は、当該市町村の住民とする」と規定されているとおり、国籍を問わず、羽生市において住民登録がされている方は羽生市民であるので、そのようなただし書を設けることはない。

●議案第50号は、６人（賛成３人、反対３人）の議員が討論を行い、賛成多数で可決しました。

９月定例会　審議案件と結果

●議決結果の公表について　議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

新令和会…新令和　瑞藤会…瑞藤　公明党…公明　日本共産党…共産　無会派…無派　【賛成：○　反対：×　退席：退　欠席：欠　除斥：除】

議案番号	議案名	新令和					瑞藤		公明		共産	無派	無派	無派	無派	審議結果
		小林誠弥	小野田和男	西山丈由	松本敏夫	丑久保恒行	川田真也	田口さとる	昆佳子	野中一城	柳沢暁	島村勉	中島直樹	小川明彦	駒宮圭吾	
市長提出議案																
第41号	令和７年度羽生市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	議長は表決に加わりません。	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
第42号	令和７年度羽生市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	×	認定
第43号	令和７年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第44号	令和７年度羽生市介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
第45号	令和７年度羽生市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
第46号	令和７年度羽生市水道事業会計利益の処分及び決算	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決及び認定
第47号	令和７年度羽生市下水道事業会計利益の処分及び決算	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決及び認定
第48号	令和８年度羽生市一般会計補正予算（第５号）	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第49号	令和８年度羽生市一般会計補正予算（第６号）	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
第50号	羽生市こども未来基金条例	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
第51号	羽生市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
第52号	羽生市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第53号	羽生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第54号	羽生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第55号	羽生市民農園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
第56号	財産の取得について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第57号	財産の処分について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第58号	羽生市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	同意

常任委員会の審査概要

総務文教委員会
議案6件　認定・可決

○議案第41号　令和7年度羽生市一般会計歳入歳出決算

問 LED防犯灯の維持管理について伺う。

答 令和6年度でLED防犯灯のリース契約期間が終了したため、令和7年度からは市で維持管理を行なっている。LED電球の球切れが多く発生しており、今後も増えていくものと思われる。

問 防災アプリの登録者数を伺う。

答 令和6年6月から運用を開始し、令和8年3月末時点の登録者数は4，186人である。防災訓練や消防フェアなどで周知している。

○議案第55号　羽生市民農園条例の一部を改正する条例

問 農園使用料を値上げすることについて、利用者への説明方法を伺う。

答 年度末に行う契約更新手続きの際に、利用者に説明したいと考えている。

都市民生委員会
議案11件　認定・可決

○議案第41号　令和7年度羽生市一般会計歳入歳出決算

問 自立支援給付費等事業において、短期入所費が増えた要因を伺う。

答 令和7年度は短期入所を長期間にわたって利用する方が増えており、前年度より利用日数が約500日増加している。障害者手帳の所持者が増えており、今後も短期入所を含め各種サービスを受ける方は増えていくと考えている。

問 公立学童保育室の管理運営業務を令和7年度から民間委託しているが、利用者サービスの向上は図られたのか。

答 保護者からは、おやつ代のオンラインキャッシュレス決済や延長保育の拡大、夏休みなどの長期休業中の昼食の提供が大変喜ばれている。また、スキルアップ研修を通じて、職員の能力向上やサービスの質の向上が図られていると考えている。

次回　12月定例会の日程（予定）

会期日程は11月25日（水）に開催予定の議会運営委員会で決まりますので変更になる場合もあります

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27 本会議 （開会日）	28 休会
29 休会	30 休会	12/1 休会	2 休会	3 休会	4 休会	5 休会
6 休会	7 本会議 （議案質疑・一般質問）	8 本会議 （一般質問）	9 本会議 （一般質問）	10 常任委員会	11 休会	12 休会
13 休会	14 休会	15 休会	16 本会議 （閉会日）	17	18	19

本会議・各常任委員会は９時30分から開会します。
本会議の傍聴は市役所５階で、常任委員会の傍聴は市役所４階で受付しています。
なお、委員会開会後の入退室は、休憩中にお願いします。
本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。

9月定例会傍聴者数

・本会議
9月7日…12人
15日…1人
16日…19人
17日…57人
18日…6人
10月6日…3人
計98人

・常任委員会
9月24日…2人
25日…0人
28日…2人
29日…0人
計4人

《議会広報委員会》

委員長　丑久保　恒行
副委員長　野中　一城
委員　西山　丈由
委員　田口　さとる
委員　中島　直樹

ご意見などを議会広報委員会まで

☎048（561）1121（内線）513

UD FONT 羽生市ぎかいだよりは、高齢者や視覚の弱い方でも誤読の少ない書体「ユニバーサルデザインフォント」を使用しています。